令和８年度　狭山市立富士見小学校　学校だより

ふ じ み

めざす学校像「笑顔・学力・命を保障する学校」

10月号

校長　田中　義久

「考える力」を育てるために

先日報道された国際的な学力調査（PISA）では、日本の子供たちの「文章を読み取り、自分で考え判断する力」や「科学的な根拠をもとに考える力」が世界トップクラスであることが示されました。

こうした力は、学校での学びの積み重ねとご家庭での温かい励ましや支えによって育まれてきたものです。



一方で、学校では一人１台の学習用タブレット（iPad）を活用した学習を進めています。ICT 機器は調べ学習や考えをまとめる活動などに大変有効な道具であり、これからの時代に欠かせないものですが、すぐに検索して答えを見つけようとしたり、生成ＡＩが示した内容をそのまま信じてしまったりすることがあります。学校の授業でも何かを検索をすると、はじめに生成ＡＩの回答が出てくることが多くあり、それを疑いなく正しい回答と思って引用する児童がいます。ご家庭ではどうでしょう。便利な道具を活用することは大切ですが、常に簡単に答えを求める習慣が身についてしまうと、「じっくり悩み考えること」や「試行錯誤しながら解決すること」が少なくなる心配があります。

学校では、上手に付き合っていくために、

１．まずは自分の頭で考え、粘り強く取り組む力を育てること。
２．得た情報をうのみにせず、本や自分の経験、先生や友達との対話を通して確かめること。

を心がけていきます。

これからも ICT 機器等を適切に活用しながら、子供たちの「考える力」や「最後までやり抜く力」を大切にした指導を進めてまいります。

さて、いよいよ運動会シーズンに入ります。「〇〇の秋」というように、実りの秋に向けて、一人一人が自分のペースで前進できるよう温かく見守ってまいりたいと思います。今後ともご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。